

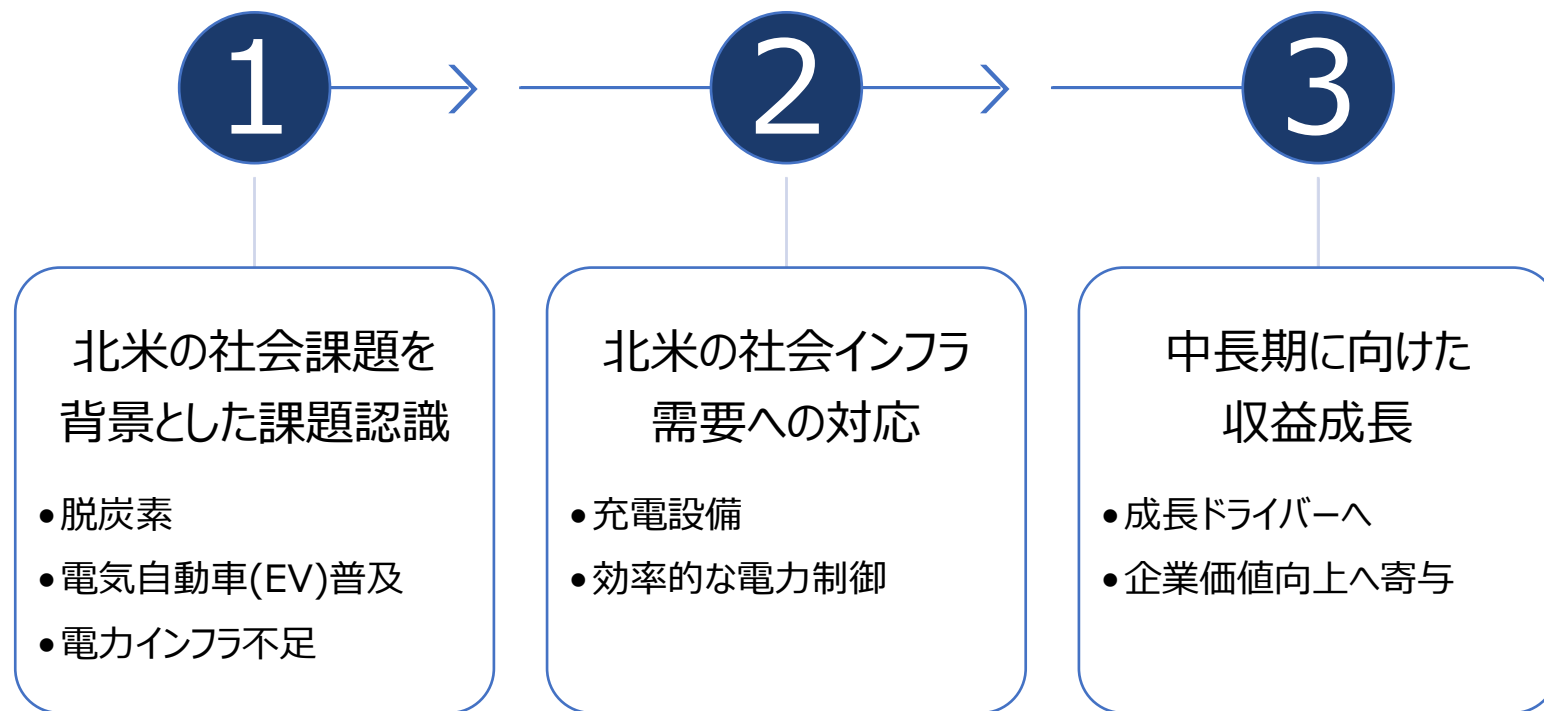
2027年4月期 第1四半期

決算補足説明資料

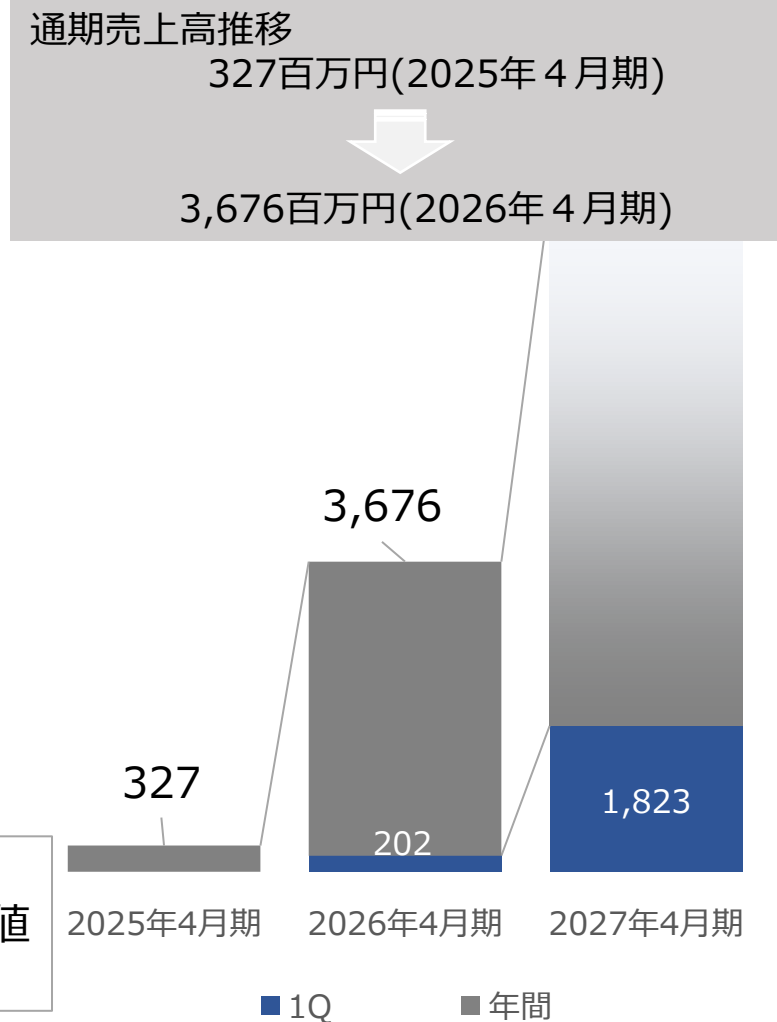
株式会社ナデックス



スマートエネルギー（SE）事業は、北米の社会課題を背景とした社会インフラ需要を取込み、当社グループの成長ドライバーへと成長しています。



- SE事業は四半期収益の増加要因であるとともに、中長期的な収益成長を牽引しています。
- この構造変化は、営業利益率の改善および資本効率の向上を通じて、中長期的な企業価値の向上に寄与するものと認識しています。



当社グループは従来、自動車分野を中心に事業を展開してきましたが、脱炭素化や産業の高度化、人手不足への対応といった社会課題の変化を背景に、自動車分野で培った技術基盤およびソリューション力を活かし、半導体、環境・エネルギー、物流自動化といった成長領域へ展開しています。今後もこれらの領域拡大を通じ、持続的な成長を目指してまいります。

自動車分野で培ってきた技術基盤の活用

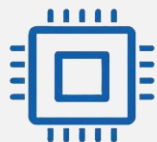
自動車中心から



成長領域へ拡大中



成長を牽引する3大事業領域



半導体

(高精度加工・検査)

高付加価値領域への適用拡大



物流自動化

(スマートファクトリーを支える構内物流)

FA・SI事業を起点に、
スマートファクトリー全体を支える領域へ拡大



環境・エネルギー

(EVステーション・電力管理)

電気自動車(EV)を起点とした
高需要電力領域への展開
(データセンター等を含む拡大)

当社グループは持続的な成長に向けて成長領域への展開を進めており、順調に拡大しております。

企業価値向上に向けたロードマップ



事業領域拡大と収益力向上により、資本コストを上回る資本効率を実現し、企業価値向上を目指しています。

事業構造の変化

- 基盤となる既存事業領域
(基盤となる自動車分野を中心とした事業領域)

+

- 成長を牽引する3大事業領域
(半導体、物流自動化、環境・エネルギー)



両輪による収益モデルの高度化
(収益性改善)

PBR改善ロジック



収益性

営業利益率 **2%→4%** 水準へ改善



資本効率

ROEの向上 (利益成長 + 自社株買いの継続実施)
3.4%
→ 8.0%
→ 10.0%以上へ(長期目標)



株主還元

総還元性向50%以上
(配当 + 自己株取得)

配当性向30%以上

中期経営計画
期間中

市場評価



市場評価

収益力・資本効率の向上
および株主還元の充実により

現在 PBR0.5倍水準
(2026/9/7株価において)



PBR1.0倍超を目指す

第1四半期業績は、増収増益

- 売上高は、95.7億円となり、前年同期比18.1億円の増収。
- 営業利益は、0.9億円、経常利益は2.1億円となり、利益面では、すべての利益において前年同期の損失から黒字転換。
- 現時点における半期および通期予想は変更なし。

(単位：百万円)

	2026年 4月期 1Q実績	2027年 4月期 1Q実績	増減	2027年 4月期 半期予想※2	進捗率	2027年 4月期 通期予想	進捗率
売上高	7,760	9,572	+ 1,812	23,000	42%	48,000	20%
営業利益又は 営業損失(△)	△ 82	95	+ 178	950	10%	2,200	4%
経常利益又は 経常損失(△)	△ 11	219	+ 231	950	23%	2,200	10%
四半期純利益又は 四半期純損失※1 (△)	△ 129	12	+ 141	400	3%	1,050	1%

※1 親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失

※2 第2四半期(累計)

2027年4月期も下半期に売上が集中する傾向が続くと予想

通期予想に対し 当初想定通りの進捗状況

前年並みの進捗率で推移

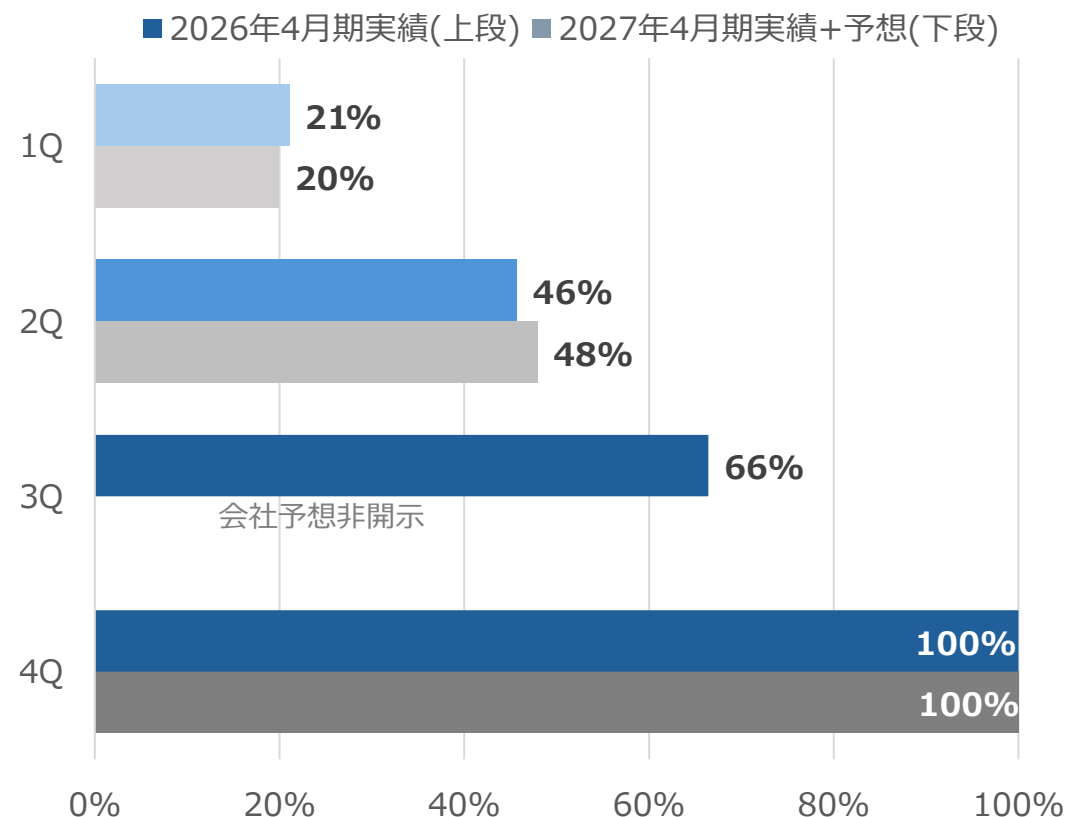
- 1Q進捗率は前年21%に対し20%と同水準
- 売上の52%を下半期に見込む通期予想

売上高(累計)

(単位：百万円)

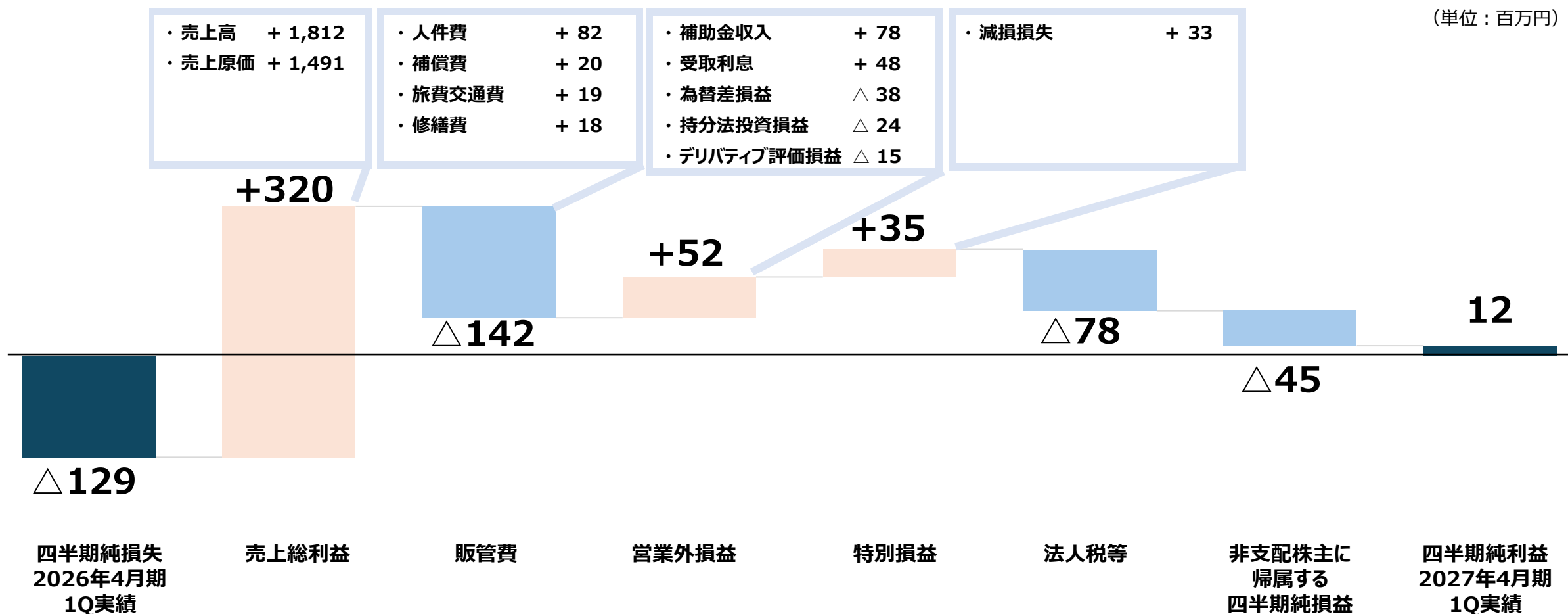
	2026年4月期 実績	2027年4月期 実績 + 予想
1Q	7,760	9,572
2Q	16,849	23,000
3Q	24,490	会社予想非開示
4Q	36,868	48,000

前年との進捗比較(売上高)



四半期純利益の増減要因

- 売上総利益は、前年同期に比べて3.2億円の増益。
北米セグメントでのEV充電ステーション建設が順調に拡大したことや、東南アジアセグメントでの自動車設備の大型案件を納入したことなどが主な要因。
- 販管費の増加を吸収し、すべての利益において前年同期の損失から黒字転換。



- 当社グループは、製造・販売を基礎とする地域別の4つのセグメント(日本、北米、中国および東南アジア)から構成されております。

■ 国内 ■ 海外

日本セグメント

日本セグメントは主に当社および国内子会社5社から構成されており、連結売上高の過半数を占めております。

東南アジアセグメント

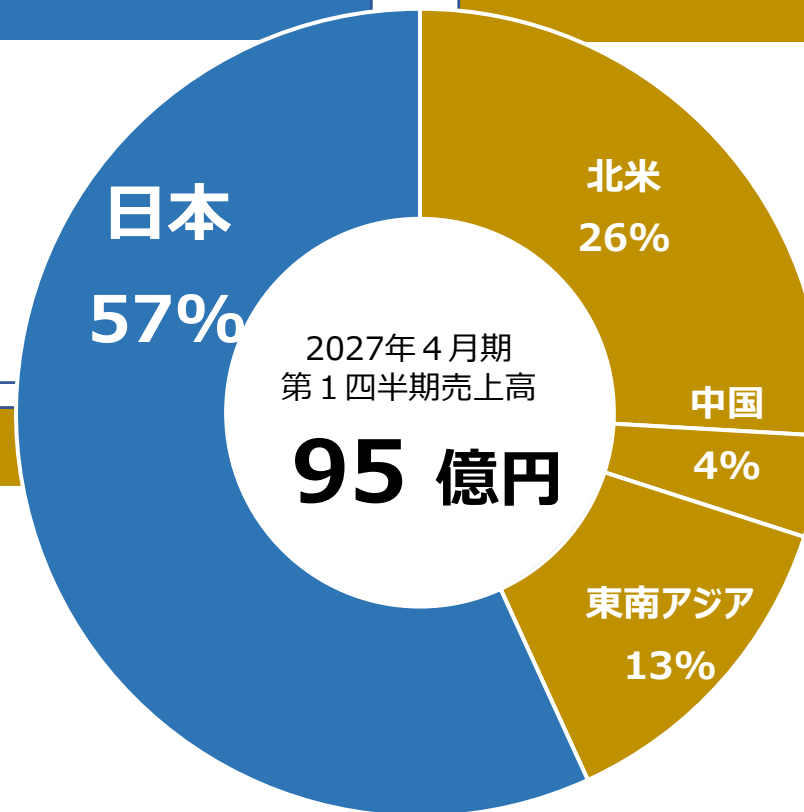
東南アジアセグメントはタイおよびインドネシアの子会社4社から構成されており、主に自動車関連企業向け自社製品および生産設備などの製造・販売を行っております。

北米セグメント

北米セグメントは米国およびメキシコの子会社4社から構成されており、抵抗スポット溶接制御装置(タイマー)の製造・販売およびEV充電ステーションの建設などを行っております。

中国セグメント

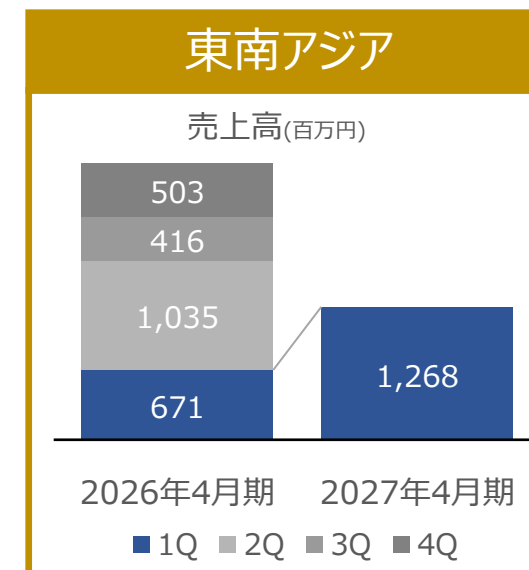
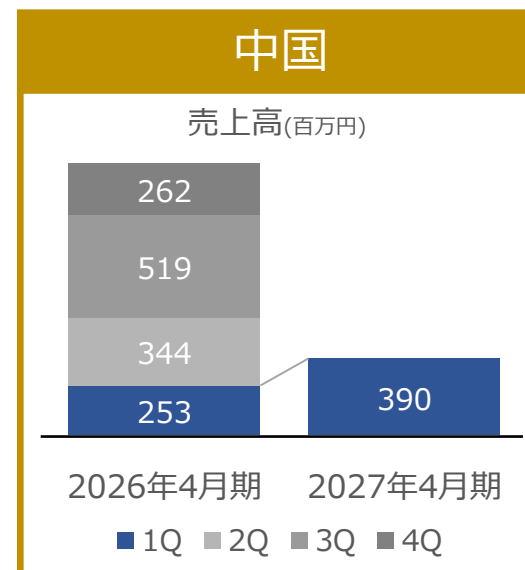
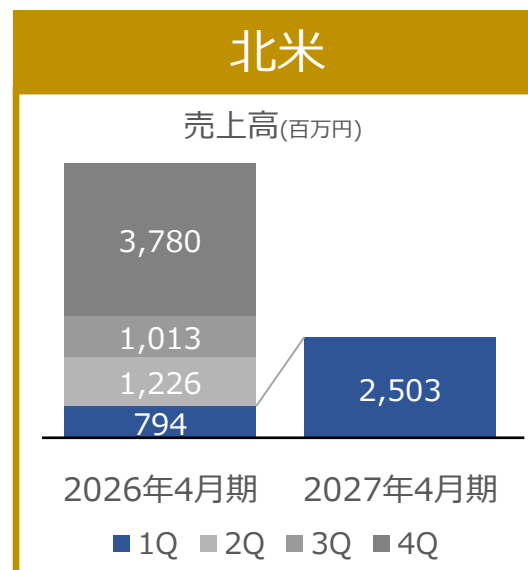
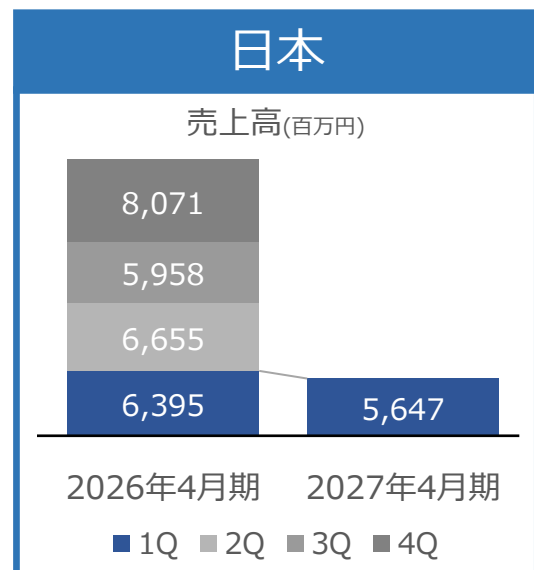
中国セグメントは子会社1社から構成されており、抵抗スポット溶接制御装置(タイマー)の製造・販売に加え、生産設備、電子部品の販売を行っております。



※ 比率は、セグメント間の内部売上高を除く構成比

(単位：百万円)

	売上高			営業利益		
	2026年4月期 1Q実績	2027年4月期 1Q実績	増減	2026年4月期 1Q実績	2027年4月期 1Q実績	増減
日本	6,395	5,647	△ 747	△ 15	△ 34	△ 19
北米	794	2,503	+ 1,708	△ 69	53	+ 122
中国	253	390	+ 137	△ 29	△ 15	+ 13
東南アジア	671	1,268	+ 597	7	86	+ 79



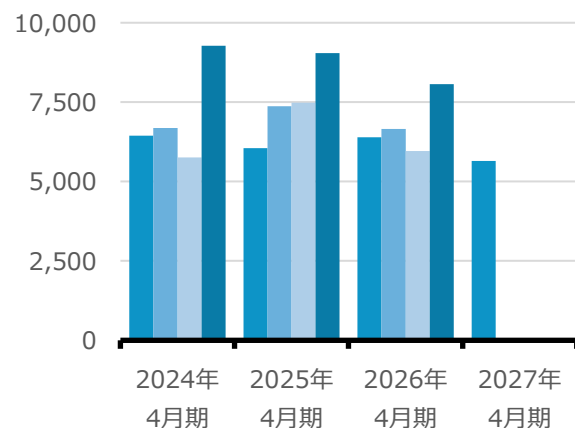
地域・四半期別推移

■ 1Q ■ 2Q ■ 3Q ■ 4Q

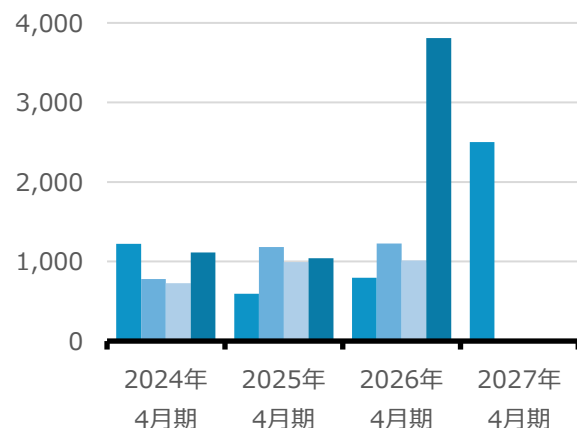
単位：百万円

売上高

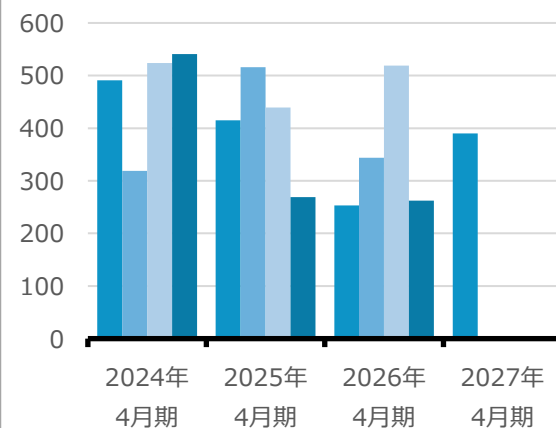
日本



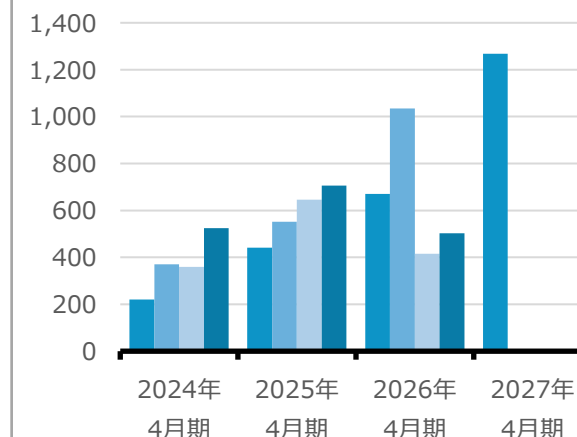
北米



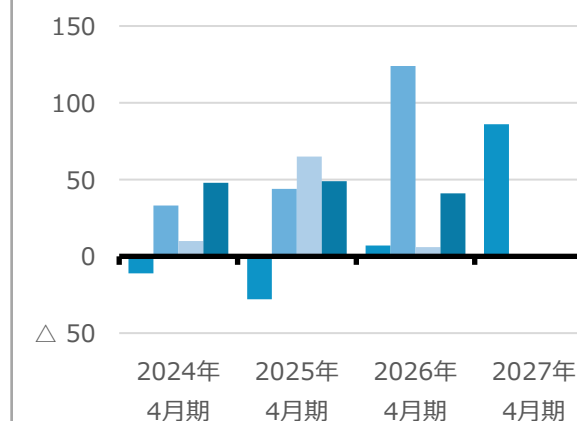
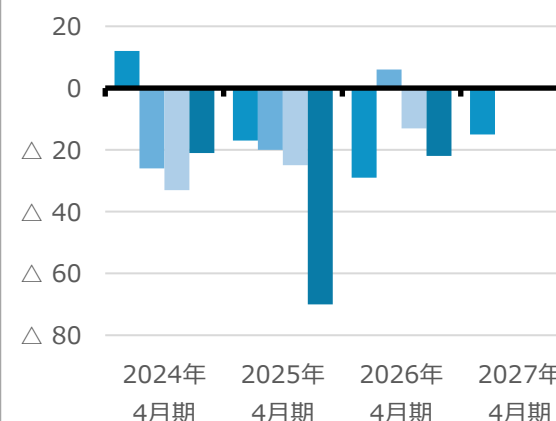
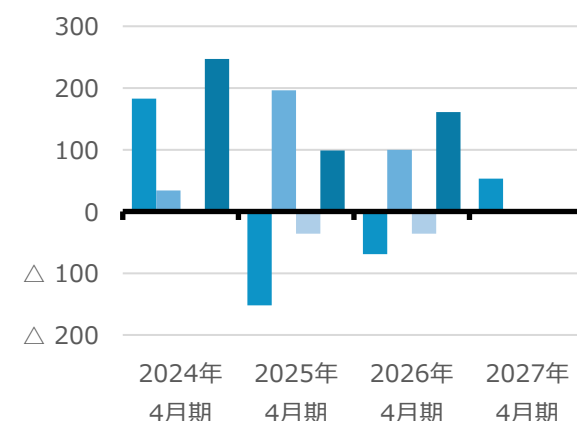
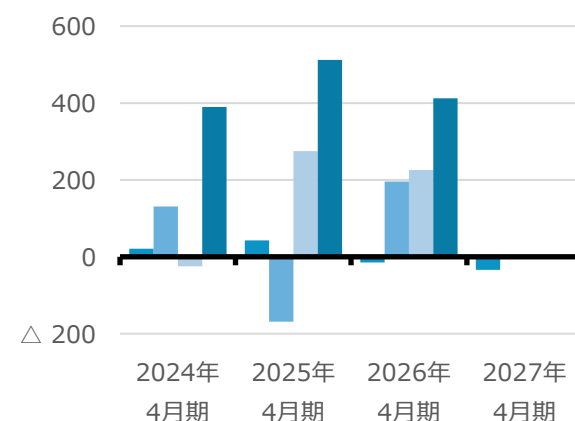
中国



東南アジア



営業利益



➤ 当社グループは、次の5つを主要な事業として行っております。

■ メーカー機能 ■ 商社機能

プロセスソリューション(PS)事業

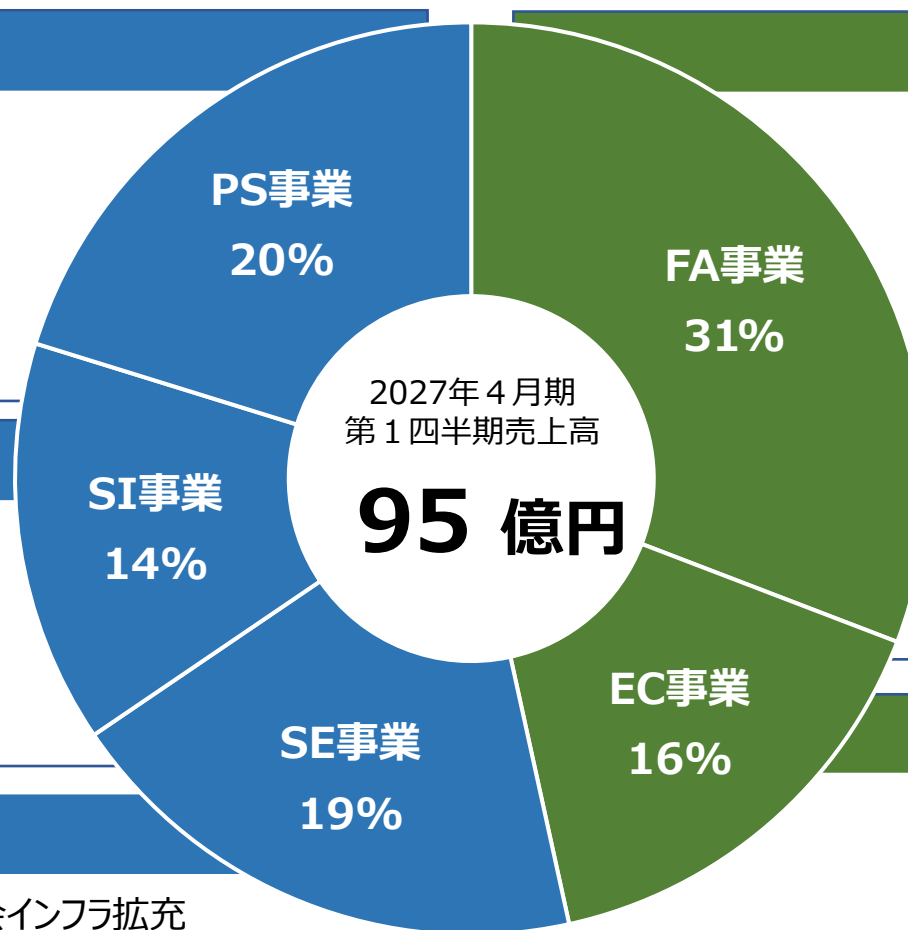
国内自動車業界でトップシェアを誇る抵抗スポット溶接制御装置(タイマー)を主軸に、レーザ加工技術、異材接合、ITを用いた次世代工法・加工ソリューションの開発を通じて、ものづくりの進化に貢献してまいります。

システムインテグレーション(SI)事業

お客様が求める生産システムをオーダーメイドで構想からカタチにする提案を行っております。各事業との有機的な連携を通じて、トータルソリューションの提供をより一層推進してまいります。

スマートエナジー(SE)事業

電気自動車(EV)の普及にかかせない社会インフラ拡充のため、EV充電ステーションの建設、EVモニタリングシステムの開発・販売・サービスサポートまでを、最適にカスタマイズしたソリューションとして提供しております。



ファクトリーオートメーション(FA)事業

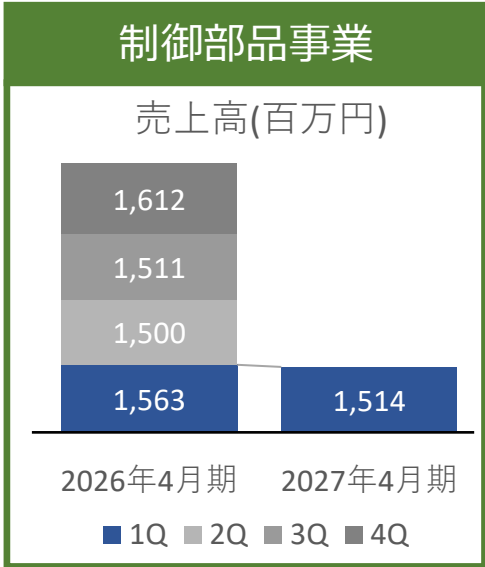
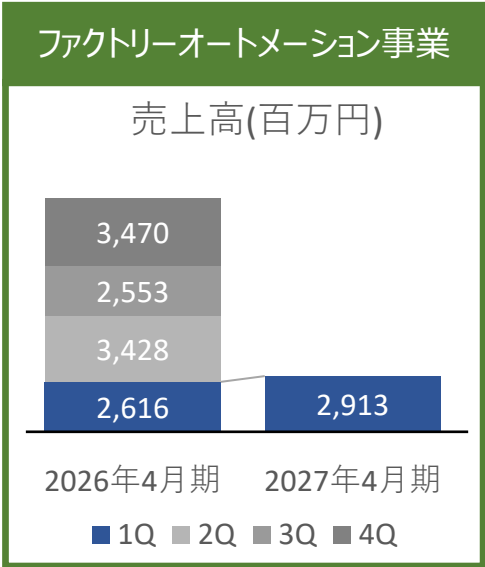
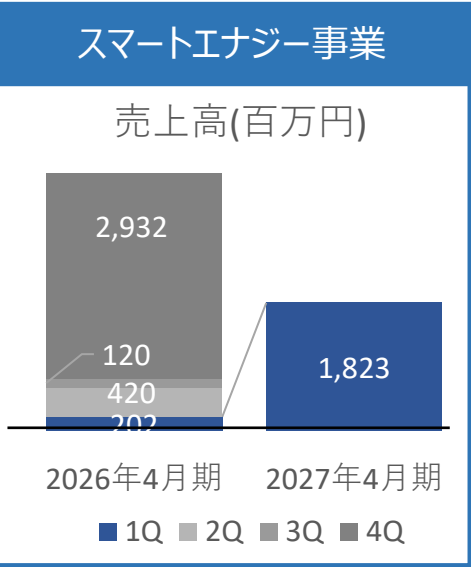
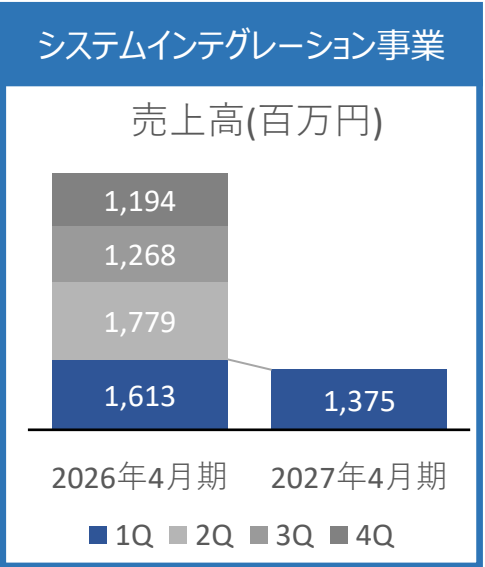
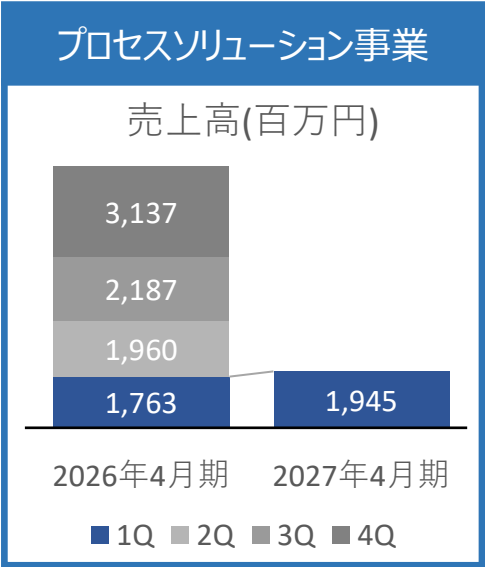
ロボット・FAシステムを中心とした省人化・自動化の提案、組付機・加工機・検査機といった単体機から製造ラインまでワンストップでの提供を行っております。また、製造業以外にも、物流ニーズに対応した構内物流の自動化ソリューションを展開しております。

制御部品(EC)事業

電子・電気制御部品の代理店販売を主軸としつつ、基板設計実装や制御盤製作などを提供しております。当社のネットワークでお客様の課題を解決する最適なコンポーネントを提案しております。

(単位：百万円)

	2026年4月期度 1Q実績	2027年4月期 1Q実績	増減	
プロセスソリューション(PS)事業	1,763	1,945	+	182
システムインテグレーション(SI)事業	1,613	1,375	△	238
スマートエナジー(SE)事業	202	1,823	+	1,621
ファクトリーオートメーション(FA)事業	2,616	2,913	+	296
制御部品(EC)事業	1,563	1,514	△	49



メーカー機能

SI事業

SE事業

FA事業

EC事業

商社機能

日本				北米				中国				東南アジア					
2026年 1Q		2027年 1Q		増減		2026年 1Q		2027年 1Q		増減		2026年 1Q		2027年 1Q		増減	
1,154		1,111		△ 42		515		614		+ 98		50		93		+ 43	
—				—				—				—					
1,307		980		△ 326		8		16		+ 8		—		—		—	
工作機向け設備の減少				—				—				—					
—		—		—		202		1,823		+ 1,621		—		—		—	
—				事業の拡大				—				—					
2,227		2,082		△ 145		59		24		△ 34		37		59		+ 22	
電機機器向け設備の減少				—				—				—					
1,365		1,264		△ 100		—		—		—		163		236		+ 72	
—				—				—				—					
												自動車向け大型案件					
												35		13		△ 22	

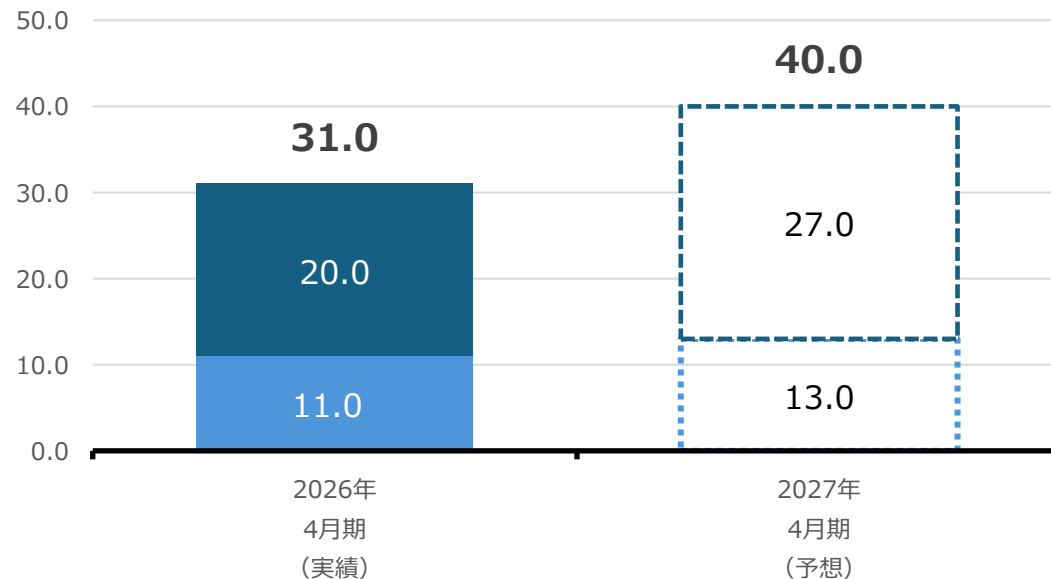
当社はPBR1倍割れを重要な経営課題と認識しており、資本効率改善に向けた取組みを推進しております。
中期経営計画で掲げる総還元性向50%以上の方針のもと、配当および自己株式取得を通じて株主還元の充実を図ってまいります。

株主還元方針

- ✓ 安定配当
- ✓ 配当性向30%以上
- ✓ 総還元性向50%以上(中期経営計画期間中)
- ✓ 機動的な自己株式取得

1株当たり配当金推移

単位：円



年間配当金予想

40円(前年 + 9円)

配当性向予想 30.3%

+

自己株式取得の状況 (2026年8月末)

自己株式取得進捗 49.6%(金額ベース)

取得総額 99百万円

上限 2億円

取得株数 77,500株

上限 230,000株

取得期間 2026/6/12~2026/11/30



総還元性向予想 50.9%
(中期経営計画目標50%以上)

ESG（環境・社会・ガバナンス）は、企業価値向上の前提条件として継続的に取り組んでいます。

ESGは当社グループの企業価値向上を支える基盤であり、環境・社会・ガバナンスの各分野において継続的な取組みを推進しております。

Environment	Social	Governance
脱炭素社会への対応	地域社会への貢献	持続的成長を支えるガバナンス強化
Greenでんき導入 ⇒ 本社・技術センターの電力を「Greenでんき」に切替え、CO₂排出係数ゼロを実現 	フードドライブ活動への協力 ⇒ 三菱UFJ銀行が実施する地域支援活動に賛同し、食料品寄付に参加 (NPO法人セカンドハーベスト名古屋へ寄付) 	全社コンプラ研修 ⇒ 自律的なコンプライアンス意識の醸成を通じて、組織全体の内部統制の徹底・浸透を推進 

展示会出展予定のご案内



以下の展示会にて、スマートファクトリー化や物流自動化に貢献する最新技術・ソリューションをご紹介します。

Logis-Tech Tokyo 2026 止まらない構内物流の自動化を実演

物流自動化

当社は「つなぐ」自動化を
売りにしています

搬送ロボット・自動倉庫など現場の
マテハン間を「つなぐ」だけでなく、
WMSと現場のマテハンを「つなぐ」
全体最適の自動化に貢献します。

自動倉庫
システム統合制御
(WCS)
非接触パルペー
搬送ロボット
デパレタイズ
ロボット
無人
フォークリフト

NADEX 株式会社ナ・デックス

愛知県名古屋市中区古渡町9番27号
国内拠点：神奈川、群馬、埼玉、静岡、愛知、大阪、広島、福岡

ソリューション紹介
2026年9月8日(木)～11日(日)
東京ビッグサイト
ブース：東7ホール
E7-ZJ24

・ 国際物流総合展2026
(9/8～9/11 東京ビッグサイト)
物流自動化ソリューションを展示
<https://www.logis-tech-tokyo.gr.jp/ltt/>

2026国際ウエルディングショー
出展のご案内

スマート
ファクトリー
への貢献。

品質を安定させたい。 検査を自動化したい。 データを活用したい。

2026年のテーマは「スマートファクトリーへの貢献」。
スポット溶接、レーザ加工、外観検査、AIを活用したデータ分析など、
接合設備から品質管理まで幅広いソリューションをご紹介します。
ご来場の際は、ぜひ弊社ブースへお立ち寄りください。

接合設備から品質管理まで

▼品質管理
経路管理システム OCT
ビームプロファイラ
非破壊検査装置
非破壊検査装置
非破壊検査装置
非破壊検査装置

▼溶接・接合技術
レーザ加工サンプル
レーザ加工機
材料検査 RGAとHookボルト

▼データ AI 分析
溶接品質検査システム
データ管理システム

▼重要技術開発・試作評価
溶接設備製作ツール
スポット溶接 板間抽出

2026.9.16(木)～9.19(日)
東京ビッグサイト
ブース番号 2-45

株式会社ナ・デックス

・ 2026国際ウエルディングショー
(9/16～9/19 東京ビッグサイト)
スマートファクトリー・接合技術を展示
<https://weldingshow.jp/2026/>

未来の工場を
見に行こう。

PRIVATE SHOW 2026

2026.10.14 WED - 10.16 FRI
株式会社ナ・デックス 技術センター
愛知県北名古屋市徳重御宮前1

スマートファクトリーへの貢献

01 接合品質を
データで高める。
溶接機/溶接データ管理/レーザ品質管理

02 検査を
もっと自動化する。
外観検査/ボルト検査/ビード形状検査

03 物流工程を
全体最適化する。
AI/ML/画像処理/パレタイズ/パッキング

04 製造とエネルギーを
最適化する。
センサ/画像処理/EV/蓄電池

見どころの
一部を公開

展示内容は予告なく変更する場合がございます。

・ ナ・デックスプライベートショー2026
(10/14～10/16 ナ・デックス技術センター)
スマートファクトリーソリューションを展示

2026年7月に実施いたしましたアンケート内容についてご報告いたします。

(有効回答116件)

株主から期待されていること

- | | |
|------------|-------|
| ① 配当・株主還元 | 76.7% |
| ② 将来の成長性 | 59.5% |
| ③ 安定した事業基盤 | 45.7% |

アンケートから
見えた課題

01

成長戦略への理解促進

02

専門用語・表現の改善

03

株主との対話の深化

当社の対応

成長戦略発信の継続

成長戦略の詳細はP3をご参照ください

IR資料の充実

株主様との対話機会拡充

株主の皆様からいただいたご意見・ご要望は、今後のIR活動および情報発信の充実に活用してまいります。アンケートへのご協力、ありがとうございました。

（将来に関する記述等についてのご注意）

- ・本資料に開示されているデータや将来予測は、本資料の発表日現在の判断や入手している情報に基づくもので、既知および未知のリスクや不確実性およびその他の要素を内包しており、これらの目標や予想の達成、および将来の業績を保証するものではありません。
- ・こうしたリスク、不確実性およびその他の要素には、当社の最新の有価証券報告書等の記載も含まれ、当社は、将来に関する記述のアップデートや修正を公表する義務を一切負うものではありません。
- ・従いまして、本情報および資料の利用は、他の方法により入手された情報とも照合確認し、利用者の判断によって行って下さいますようお願いいたします。
- ・本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。